

テーマ『The True Cost』3

____ 高校 ____ 年 ____ 組 ____ 番 (____)

1. DVD を見て気づいた点や問題点を書いてみよう。

DVD 「The True Cost ～ファストファッション 真の代償～」

2013 年 4 月 24 日、バングラデシュ、ダッカで衣服の縫製工場が入っていた 8 階建ての商業ビル「ラナ・プラザ」が崩壊し、1100 人名以上が死亡、2500 人以上が負傷した。このニュースを見た「アンドリュー・モーガン（監督）」が華やかなファッション業界の裏側にどのような現実があるか調査し、映画としてまとめた。

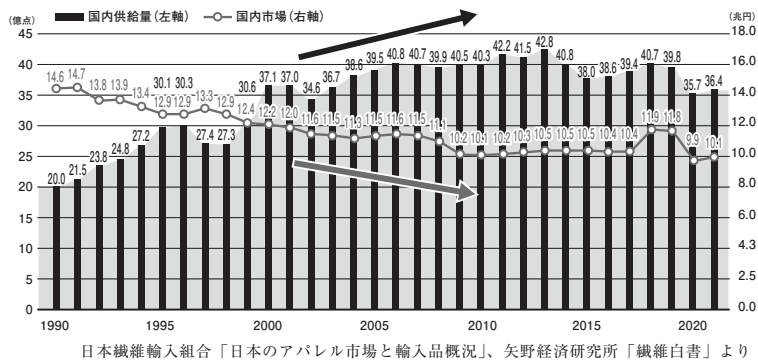
＊今回は時間の都合上、前半 30 分のみ視聴

衣服を作る労働者について	
衣類の価格について	
衣服の原材料・綿について	
その他	DVD の登場人物をすごろくの役割にあてはめて考えると・・・ 生産者… 製造者… 販売者… 消費者…

1. 衣服ロス（新品だったり、まだ使えるにも関わらず廃棄される衣服のこと）

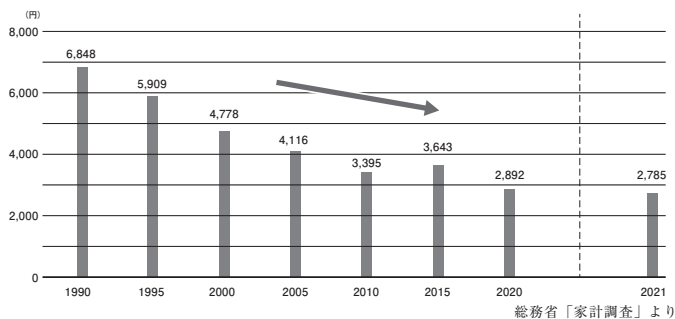
衣服ロスは、日本だけで年間15億着以上、大型トラック約120台分を毎日焼却・埋め立て処分されている

●国内アパレル供給量・市場規模の推移●



国内における供給数は増加する一方で、衣服の一枚あたりの価格は年々安くなり、市場規模は下がっています。より安くより多くって、いいこと？

●衣服一枚あたりの価格推移●



国内における供給数は増加する一方で、衣服一枚あたりの価格は年々安くなり、市場規模は下がっています。傾向として大量生産・大量消費が拡大しているとも言え、衣服のライフサイクルの短期化による大量廃棄への流れが懸念されます。

1人あたり（年間平均）の衣服消費・利用状況



手放す枚数よりも購入枚数の方が多く、一年間一回も着られていない服が一人あたり35着もあります。

POINT ファッションの短サイクル化や低価格化により多くの服を生み出し、消費されることにつながります。

(環境省「サステナブルファッション」)
https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/

1人当たり（年間平均）の衣服消費・利用状況【手放すよりも購入枚数の方が多く、一回も着用しない服が35枚もある】の理由を考えてみよう。

2. 着られなくなった衣服の末路



(2022年 NHK撮影)

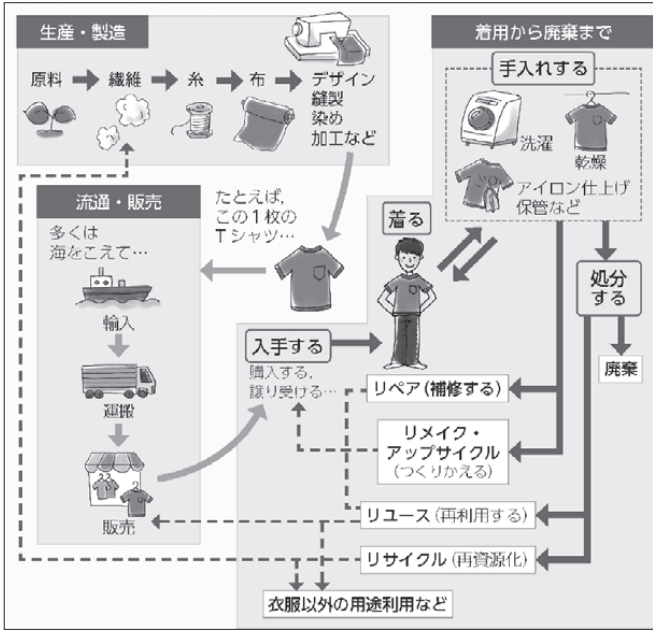
「衣服の墓場」

チリのアタカマ砂漠に、膨大な量の衣服が捨てられた巨大な「服の山」。古着屋に持ち込まれたり、寄付に出されたりしたのち輸出され、買い取り手がなかった場合、さらに別の国に輸出されることになり、最終的に誰にも買われなかった衣服が「捨てられた衣服たち」です。着られなくなった衣服が“ただのゴミ”となるだけでなく、環境問題や国どうしのトラブルにまで発展する原因となっています。

(NHK 特設サイト「NHK 国際ニュースナビ」記事「着られなくなった衣服の“末路”とは…」より (一部改変))

https://www3.nhk.or.jp/news/special/international_news_navi/articles/feature/2022/05/29/21711.html

3. 現代における衣服の循環



(教育図書「Survive!! 高等学校家庭基礎」令和7年度版 p36 より)

4. 衣服の循環から、消費者として、①購入するとき、②使うとき、③廃棄するとき、問題点と解決策を考えてみよう。

	問 題 点	解 決 策
① 購入するとき		
② 使うとき		
③ 廃棄するとき		

5. これまでの授業を踏まえ、あなたは、「消費者の責任」についてどのように考えますか。